

【FP版】集客記事の書き方講座4

# タイトルの矛盾と作り方

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

# タイトルには矛盾した2つの役割がある

- ▶ 読者に手短かに記事の内容を的確に伝え、読みたい記事を選択させ、時間を節約させる
- ▶ 読者の興味を惹き、クリックを促し、記事を読んでもらう
  - ▶ 結局読者に記事を読んでもほしいのか、ほしくないのか？
- ▶ タイトルは「読者を勧誘する」役割があり、FPなら利益相反という言葉が思い浮かぶかも。
  - ▶ 唯一利益相反にならないのは「読者の役に立つ記事」である
  - ▶ 役に立つ記事でなければ、長期的には破綻する
- ▶ タイトルは読者とあなたをつなぐメッセンジャー

# タイトルの付け方 (1) 基本

- ▶ 記事を書く前のタイトルと、書いた後のタイトルは違う
  - ▶ 書く前のタイトル  
自分が何を書くのか？その道標となるもの
  - ▶ 書いた後のタイトル  
読者に見せるタイトル
- ▶ キーワード、タイトルの長さ
  - ▶ メインキーワードは左に寄せるのが望ましい
  - ▶ タイトルの長さは30文字前後が望ましい

# タイトルの付け方 (2) アイデアツール

- ▶ タイトル生成ツール (メガトリ・実演)

# タイトルの付け方 (3) 興味を惹くテク

- ▶ ギャップのある語の組み合わせ
  - ▶ 小さいー大きい、熱いー冷たい、好きー嫌い、など
- ▶ 数字等の具体性
  - ▶ 「〇〇を実現する11の法則」など
- ▶ 疑問文などでの呼びかけ
  - ▶ 「まだ知らないの？ 30代の〇〇がNGなワケ」
- ▶ ターゲットのメリット、ベネフィット
  - ▶ 「独学で〇〇に一発合格するための4つのポイント」
  - ▶ 「彼女にモテる1週間ダイエット法」
- ▶ テクニックはあくまでテクニック。内容とのバランスをしっかりと考えよう。

# タイトルの矛盾と作り方まとめ

- ▶ タイトルは読者とあなたをつなぐメッセージャー。的確に、でもちょっと魅力的に！
- ▶ タイトルは記事を書く前と書いた後に考える
- ▶ 様々な経験則やタイトル作成ツールを使って、作業を楽しくしよう
- ▶ 興味を惹くテクニック:ギャップ、具体性、呼びかけ、ターゲットのメリットなど